

教科名	総合		科目名：必・必選・自選	単位数	1	単位
			スタディガイダンス I			
使用教科書				対象	1 学年	
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアガイダンスによる3カ年を見通した系統的進路指導を学習面から補強することで、進路決定率の向上を図る。 ・「わかった」、「できた」という喜びを実感し、「次もやってみたい」、「もっと学びたい」という意欲を喚起する。 ・確かな基礎学力を身に付けることで、進路選択の幅を広げ、将来展望をもてる生徒を育成する。 			担当者	川尻・入川・渡邊 北浦・鈴木省・齋藤楓 武居・塚本・須賀・小池	
学習内容				時間配当	教材等	
授業の内容と主な教材	一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・学力診断テストの実施（学期当初） ・学力診断テストの結果に基づいて、各生徒の国語、数学、英語の学力到達度を判定し、演習プリントに基づき各自演習を行う。 ・生徒は演習プリントを使用して各自演習を行う。 ・授業中、学級担任は机間巡視をおこない、個々の質問に応じるなどの個別指導を実施する。 		計13(65)	自作教材 国語・地歴 公民・数学・理科・英語各教科担当が自作教材を作成する	
	一二期	<ul style="list-style-type: none"> ・終了後、学級担任は演習プリントを回収し、各生徒の学習の進行状況を点検把握する。 ・学級担任は学習の進行状況に問題がある生徒を教科担当に報告する。 <p>※義務教育段階の学習内容の確実な定着が科目設定理由の一つであることから、国語・数学・英語・理科・社会から出題する。</p> <p>※放課後自習室を常設し、各クラスの教科担当者が常に学習支援できる体制を整える。</p>		計14(70)		
	三学期			計8(40)		
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・出席状況 ・課題プリント等の提出物 					

教科名	総合	科目名(必・必選・自選)	単位数	1	単位
		スタディガイダンスⅡ			
使用教科書		対 象	2 学年		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアガイダンスによる3カ年を見通した系統的進路指導を学習面から補強することで、進路決定率の向上を図る。 ・「わかった」、「できた」という喜びを実感し、「次もやってみたい」、「もっと学びたい」という意欲を喚起する。 ・確かな基礎学力を身に付けることで、進路選択の幅を広げ、将来展望をもてる生徒を育成する。 		担 当 者	小松崎・山本・高橋・林田・星・佐藤・中野・松村・荻野・鮎川	
		学 習 内 容	時 間 配 当	教 材 等	
授業の内容と主な教材	一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガイダンスⅠでの学習内容を引き継ぎながら、キャリアガイダンスの系統的進路指導への学習面からの補強を加味し、演習テキストに基づく学習を行う。 ・授業中、学級担任は机間巡視をおこない、個々の質問に応じるなどの個別指導を実施する。 ・終了後、学級担任はテキストを回収し、各生徒の学習の進行状況を点検把握する。 ・学級担任は学習の進行状況に問題がある生徒を教科担当に報告する。 <p>※義務教育段階の学習内容の確実な定着が科目設定理由の一つであることから、国語・数学・英語・理科・社会から出題する。</p>	計13(65)	自作教材 国語・地歴公民・数学・理科・英語各教科担当が自作教材を作成する	
	二学期		計14(70)		
	三学期		計8(40)		
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・出席状況 ・課題プリント等の提出物 				

教科名	総合		科目名(必) 必選・自選	単位数	1	単位
			スタディガイダンスⅢ			
使用教科書				対 象	3 学年	
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアガイダンスによる系統的進路指導を学習面から補強することで、各生徒の進路実現を図る。 ・基礎学力の定着は「生きる力」の礎である。強い学び直しの意欲をもって入学してくる本校生徒の実態に即して、高等学校教育課程の枠にとらわれることなく基礎学力の定着を図る授業の設置は欠かせない。 ・高等学校各教科の枠を超えて横断的に学習することにより、総合的な学力を身に付け、進路実現につなげる。 			担 当 者	斉藤・佐伯・青柳 小坂・吉本・長谷川	
学習内容				時間配当	教 材 等	
授業の内容と主な教材	一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガイダンスⅡでの学習内容を引き継ぎながら、キャリアガイダンスの系統的進路指導への学習面からの補強を加味し、演習テキストに基づく学習を行う。 		計13(65)	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科担当による自作教材…国語・数学・英語・理科・社会 	
	二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・演習テキストの内容は熟語・英単語など各教科の基礎学力の定着を図ると同時に進路活動に直結する内容を精選した。 ・授業中、学級担任は机間巡視をおこない、個々の質問に応じるなどの個別指導を実施する。 ・終了後、学級担任は自作教材を回収し、各生徒の学習の進行状況を点検把握する。 		計14(70)		
	三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は学習の進行状況に問題がある生徒を教科担当に報告する。 		計8(40)		
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・出席状況 ・自作教材及び課題プリント等の提出物 					